

福井県における 国際物流(港湾) の状況

北陸地域国際物流
戦略チーム幹事会
H26.3.12

福井県



敦賀港



福井港

敦賀港・福井港の背後地



①各地から敦賀港への距離

*一般道利用 県調べ

- 長浜市～敦賀港（名古屋港）
45km 約80分（80km約140分）
- 彦根市～敦賀港（名古屋港）
60km約100分（77km約140分）
- 大垣市～敦賀港（名古屋港）
77km約120分（57km約90分）

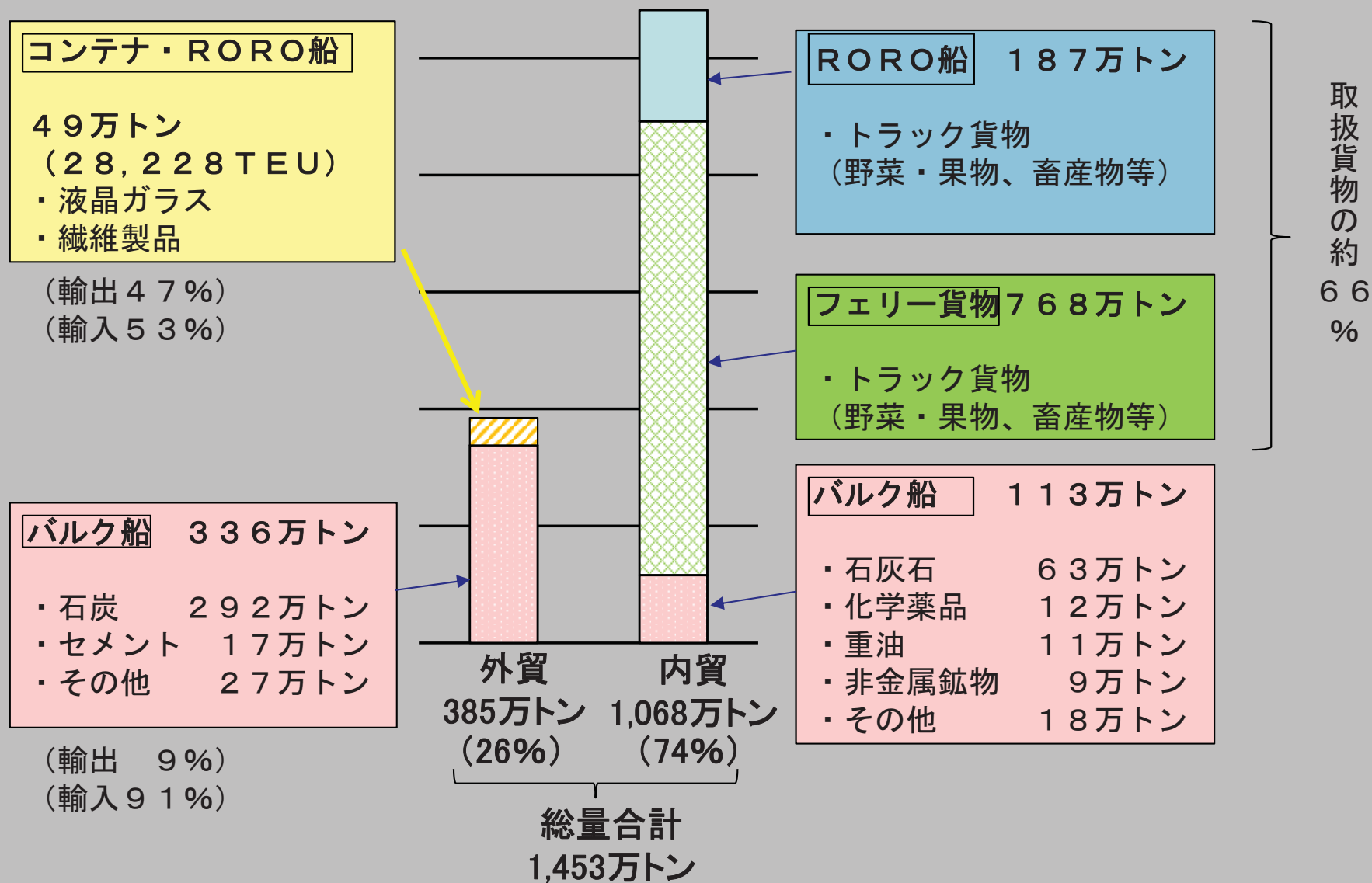
②各地から福井港への距離

*一般道利用 県調べ

- 大阪市～福井港
240km 約180分
- 名古屋市～福井港
180km約150分
- 金沢市～福井港
70km約90分

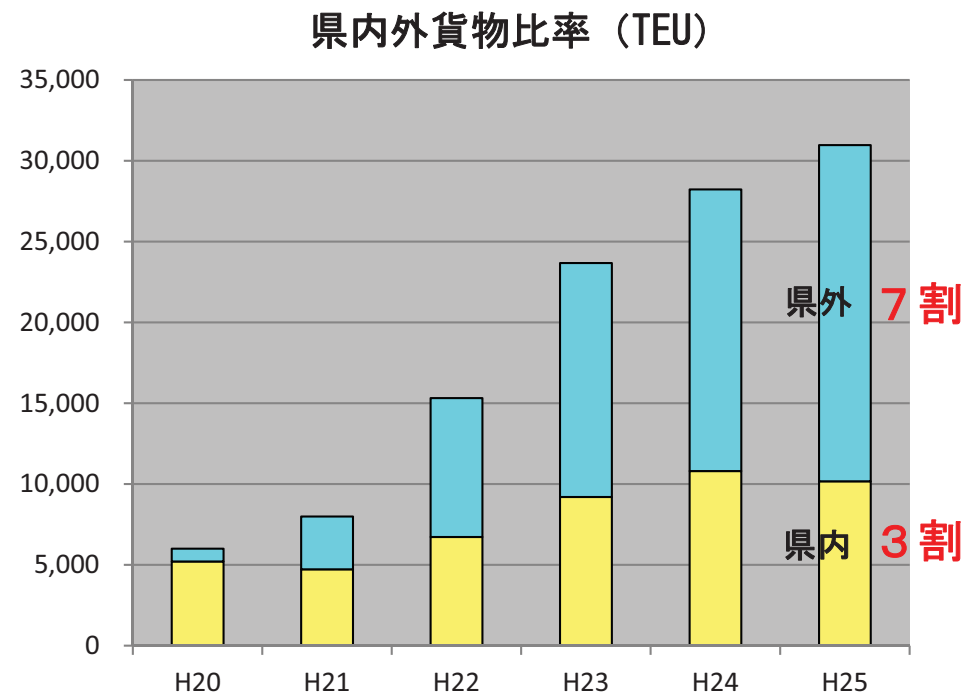
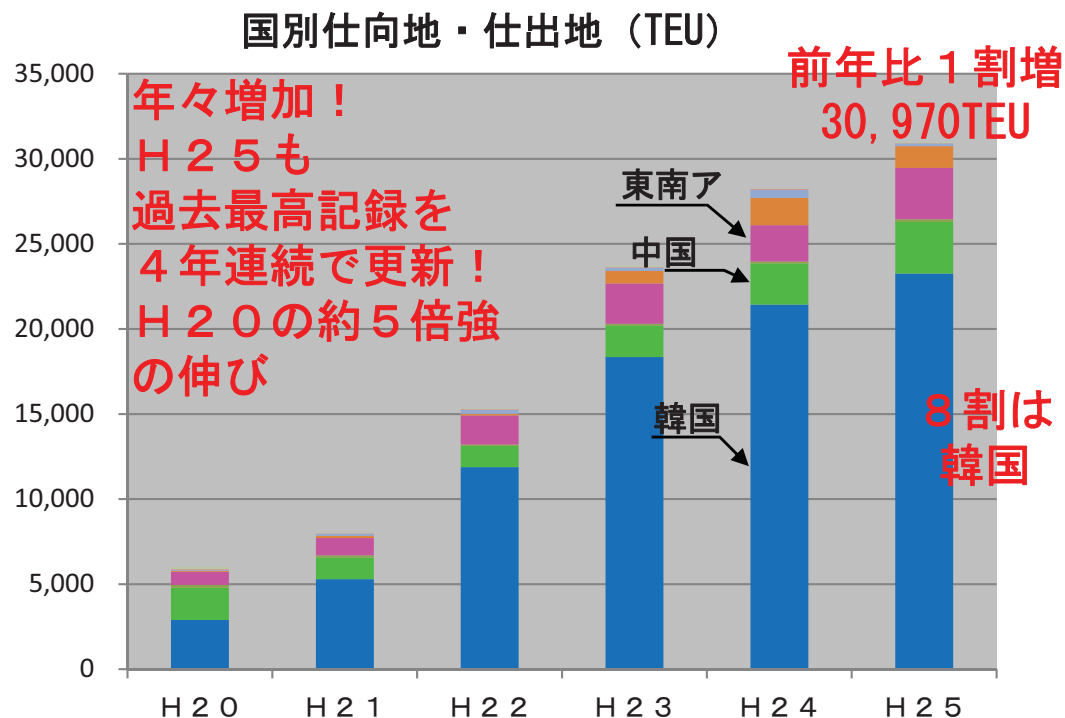
敦賀港の貨物取扱量

敦賀港貨物取扱量(平成24年)



外貿コンテナ貨物取扱内訳

国別仕向地・仕出地割合と県内外比率



敦賀港貨物は
韓国貨物が中心

敦賀港貨物の7割は
県外の貨物

敦賀港の外貿定期航路の特徴



敦賀港外貿航路の寄港日と航路日数

【コンテナ船】

輸入

釜山北港	敦賀港
日	→ 火 (2日)
	木 (4日)
火	→ 木 (2日)

上海港	敦賀港
木	→ 木 (7日)

輸出

敦賀港	釜山北港
水	→ 土 (3日)
金	→ 日 (2日)
土	→ 日 (1日)

敦賀港	上海港
金	→ 水 (5日)

【RORO船】

輸入

釜山新港	敦賀港
水	→ 木 (1日)
金	→ 土 (1日)

輸出

敦賀港	釜山新港
木	→ 金 (1日)
土	→ 月 (2日)

定期就航船社 (日本代理店)

コンテナ船

- ・興亜海運 (三栄海運)
- ・長錦商船 (シノコ成本)
- ・汎洲海運 (アジアカーゴサービス)

RORO船

- ・パンスター (サンスター)

* 韓国では、蔚山、光陽、馬山港にも寄港

* 中国では、寧波にも寄港

◎内貿定期航路も充実

北海道とは週14便

【フェリー船】

新日本海フェリー(株)

敦賀～苫小牧東 **毎日運航**

敦賀～新潟～秋田～苫小牧東

【RORO船】

週1便

近海郵船物流(株)

敦賀～苫小牧西 **週6便**

その取扱量は約
年間 **1千万トン**



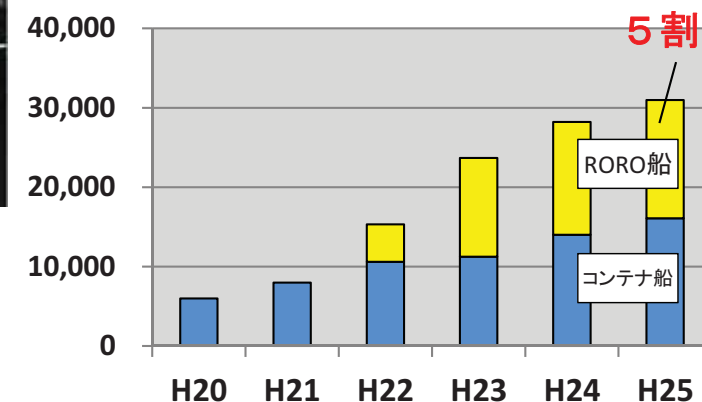
国際RORO船の特長

- ①高速性・定時性の実現
- ②作業の効率化
- ③貨物運搬の安全性確保
- ④規格外貨物の受け入れ
- ⑤経済性

- ・コンテナ船の約**2倍**の**高速航行能力**
- ・寄港数が少なく、極端な**遅れのないシャトル便**
- ・**釜山港まで1日**という**高速運送を実現**
- ・クレーンを使わず、トラックが直接乗り入れ、**安全なうえ積下ろし作業が早い**
- ・**カット時間が出港当日午前中**
- ・もとは人も運ぶフェリータイプの船であり、**走行安全性に優れ**、貨物が損傷しにくい
- ・**室内に保管**できるため、雨風の影響を受けない
- ・コンテナのほか、**コンテナに入らない大型貨物、パレット単位でも運搬可能**
- ・室内なので**簡易包装**でOK、梱包費用が安くつく
- ・**航空輸送にも匹敵**する**高速性**がありながら、費用は約1/3
- ・中国上海等へも**RORO乗継**可能

RORO船とは

Roll On Roll Off の頭文字
フェリーのようにランプウェイを備え、トレーラーなどの車両を収納する車両甲板を持つ貨物船のこと。車両甲板のおかげで搭載される車両はクレーンなどに頼らず自走で搭載/揚陸できる。



- ・20社以上の企業様が利用されました。
- ・年間14,000TEU以上の貨物取扱がありました。

(2012年港湾利用状況から、福井県調べ)

福井港の背後圏 テクノポート福井

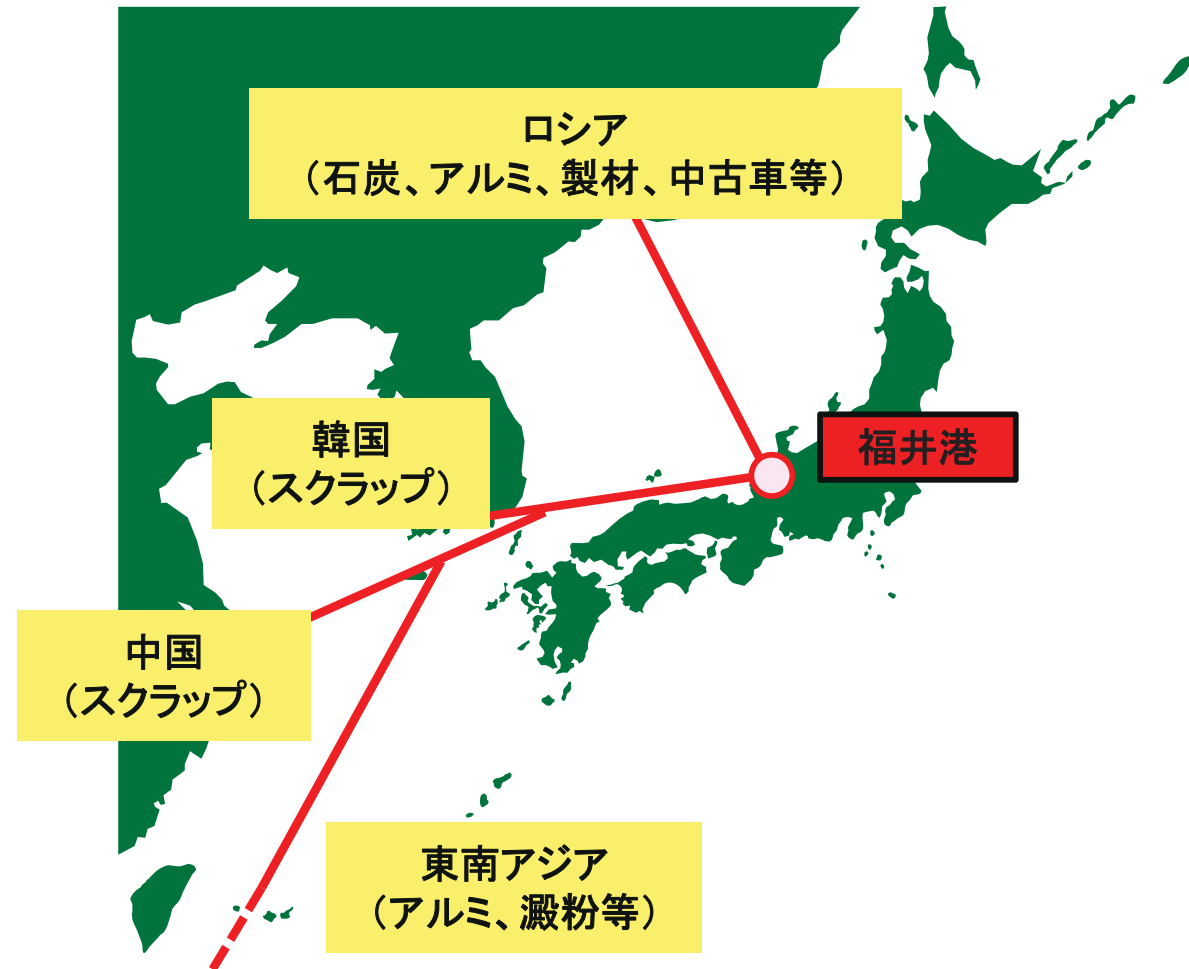


7

福井港の外国貿易

福井港相手国別隻数・貨物量(H25)

相手国	隻数	貨物量 (t)
ロシア	47	103,567
韓国	28	63,956
東南アジア	19	40,939
中国	13	15,121
その他	1	2,421
合計	108	226,004

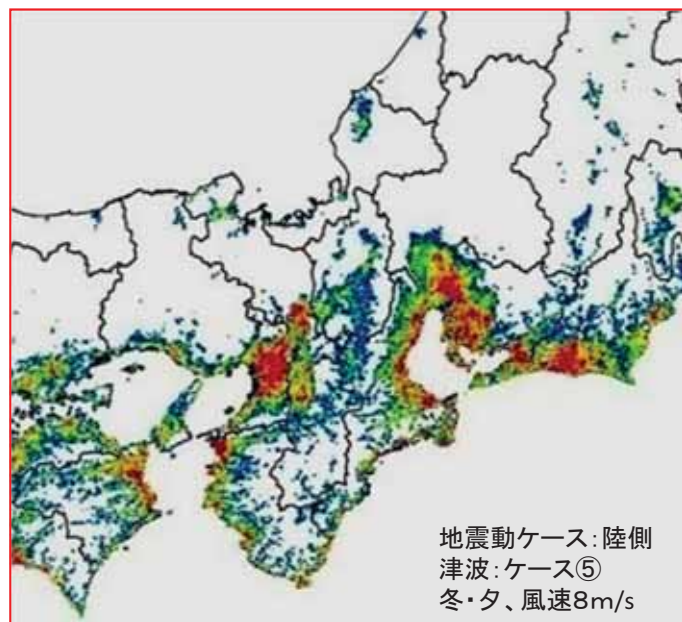


- ・ 平成25年の外航隻数は108隻、約23万トン
- ・ ロシアとの輸出入が1/2、韓国との輸出入が1/4を占める
- ・ 合積輸送により小口貨物の輸出入も可能(H25:18回実施)

東海、東南海、南海連動型地震時の 阪神港、名古屋港・四日市港の代替・補完機能について

リダンダンシー

南海トラフの巨大地震による
津波浸水がもたらす家屋被害予測図

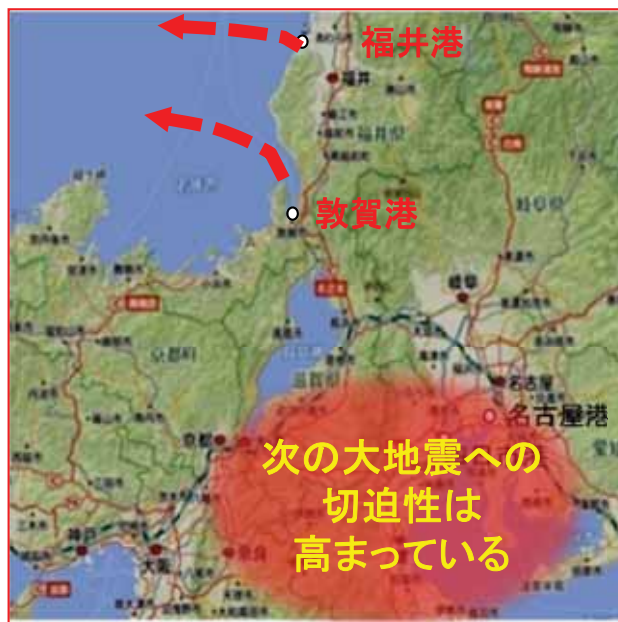


H24.8.29
内閣府発表

- ・災害に備えた事前準備 体制の構築
- ・被害を最小限にする物 流機能の維持
- ・被災港の定期航路の 一時受け入れ

レジリエンス(強く、しなやか)な国土体制が求められています。

南海トラフ沿いで起きる地震の
新たな長期評価



H25.5.24報告
文部科学省地震調査研究推進本部



大規模港の代替・補完港として、平時より
日本海側港湾を利用することが重要

東北大震災時に日本海側港湾が
果たした役割



H25.3.8報告
国交省北陸地方整備局
北陸地域国際物流戦略チーム

まとめ

- ・韓国・ロシアなどの対岸諸国との貿易を拡大していきます。
- ・敦賀港・福井港、それぞれの特徴を活かした貨物集荷に取り組んでいきます。

幸福度日本一の福井県

福井の港を使えば、がくる。

敦賀港・福井港に関するお問い合わせは
福井県産業労働部企業誘致課
福井県福井市大手3-17-1
TEL:0776 - 20 - 0365
FAX:0776 - 20 - 0678
E-mail:k-yuchi@pref.fukui.lg.jp